

フレイル・サルコペニアと高齢者泌尿器疾患に関する研究（22-15）

主任研究者 野宮 正範 国立長寿医療研究センター 泌尿器外科（部長）

研究要旨

フレイルやサルコペニアに関連する重要な泌尿器疾患として、下部尿路機能障害および泌尿器悪性腫瘍が挙げられる。これらの疾患は、加齢に伴う身体組成の変化、ホルモン環境の変動、自律神経系を含む恒常性維持機構の脆弱化、神経変性の進行など、フレイルの生物学的基盤にある多面的な要素と密接に関係しているとされている。

本研究では、以下の3つのテーマを柱に、2022年度から2024年度の3年間にわたり、泌尿器疾患とフレイルおよびサルコペニアとの関連性を明らかにすることを目的として、高齢者を対象に、身体機能・生活機能・下部尿路機能などの多面的な評価を行う観察研究を実施した。

① 高齢入院患者におけるフレイルと尿失禁発症に関わる共通リスク因子の同定

下部尿路機能障害の治療歴を持たない高齢入院患者を対象に、尿失禁と身体的フレイルの関連性、転倒不安や生活機能との関係を明らかにした。

② 高齢前立腺癌患者に対するアンドロゲン除去療法（ADT）がフレイル・サルコペニアに与える影響の検討

ADTを受ける高齢患者において、筋力や身体機能の低下に加え、うつ傾向や社会参加の減少といった心理社会的側面を含むフレイル進行の実態を示した。

③ フレイル高齢者の下部尿路症状（LUTS）と骨盤内血流障害に関する研究

膀胱粘膜血流（BBF）の実測により、LUTSと局所循環不全との間に有意な関連があることを確認し、LUTSの背景に膀胱局所の血流変化が役割を果たしている可能性が示された。

これらの成果を通じて、LUTSやADTに関連する変化が、局所的な症状にとどまらず、全身の機能や生活のあり方にも影響を及ぼし得ることが示唆された。今後は、これらの知見をもとに、泌尿器疾患の評価と対応を高齢者の健康全体を見通した枠組みの中でとらえる視点が求められる。

主任研究者

野宮 正範 国立長寿医療研究センター 泌尿器外科（部長）

分担研究者

西井 久枝 国立長寿医療研究センター 泌尿器外科（医師）

吉田 正貴 国立長寿医療研究センター 泌尿器外科（客員研究員）

近藤 和泉 国立長寿医療研究センター 病院長

研究期間 倫理・利益相反委員会承認後～2025年3月31日

A. 研究目的

高齢者における下部尿路機能障害や泌尿器悪性腫瘍は、単独疾患としてのみならず、フレイルやサルコペニアと相互に関連する病態として重要である。これらの泌尿器疾患は、高齢者の生活機能、身体活動性、心理社会的適応、QOL（生活の質）に影響を及ぼし、介護依存や社会的孤立の契機となる可能性がある。しかしながら、LUTSやADTなどの泌尿器的課題と、フレイル・サルコペニアとの関係性を包括的かつ縦断的に検討した研究は限られている。

本研究班では、泌尿器疾患を高齢者の全身的脆弱性の指標・増悪因子と捉え、3年間にわたって多面的な観察研究を行い、予測因子の同定と新たな評価手法の構築を目的とした。以下の3つの研究課題を通じて目的の達成を目指した：

① 高齢入院患者におけるフレイルと尿失禁発症に関わる共通リスク因子の同定

LUTSの治療歴を有しない高齢入院患者を対象に、入院に伴う身体機能・ADL機能の低下が、尿失禁の新規発症や増悪に与える影響を明らかにし、フレイルと尿失禁に共通するリスク因子の同定、および両者の同時・異時性関連の解明を目的とした。

② 高齢前立腺癌患者に対するアンドロゲン除去療法（ADT）がフレイル・サルコペニアに与える影響の検討

前立腺癌治療としてのADTの導入が、筋力・身体機能・心理社会的側面を含むフレイルやサルコペニアの進行に与える影響を評価し、治療中に注視すべき機能的予備能の変化と介入可能な項目を明らかにすることを目的とした。

③ フレイル高齢者の下部尿路症状（LUTS）と骨盤内血流障害に関する研究

高齢者におけるLUTSの背景にある膀胱粘膜血流の変化（慢性膀胱虚血）に着目し、非侵襲的測定法（レーザードプラ血流計）による膀胱血流評価とLUTSの関連性を検討。病態理解を深めるとともに、将来的に診断や治療評価に応用可能な生理指標の開発を目指した。

B. 研究方法

(1) 全体計画

本研究では、3つの異なるアプローチを通じて、泌尿器疾患とフレイル・サルコペニアの関連を多角的に検討する観察研究を実施した。研究はすべて、国立長寿医療研究センター倫理・利益相反委員会の承認を得て実施され、対象者から文書による同意を取得した。

① 高齢入院患者におけるフレイルと尿失禁発症に関わる共通リスク因子の同定

研究デザイン：前向き観察研究（コホート研究）

研究期間：倫理・利益相反委員会承認後～2025年3月

実施場所：国立長寿医療研究センター

目標症例数：300例

研究計画：

消化器外科・整形外科などの非泌尿器系疾患で入院した65歳以上の高齢者を対象とし、入院前の尿失禁の有無および全身状態を聴取した上で、入院中および退院時の下部尿路機能、尿失禁の有無、フレイル指標、生活機能指標の評価を行った。

入院時の治療関連因子（疾病重症度、点滴管理、安静期間、尿道カテーテル留置、手術の有無と内容、使用薬剤、服薬数、リハビリの実施状況）との関連を分析し、尿失禁およびフレイルの相互関係と共通リスク因子の同定を行った。

さらに退院6か月後および12か月後に追跡調査を実施し、尿失禁、フレイル状態との関連を評価した。

② 高齢前立腺癌患者に対するアンドロゲン除去療法（ADT）がフレイル・サルコペニアに与える影響の検討

研究デザイン：前向き観察研究（コホート研究）

研究期間：倫理・利益相反委員会承認後～2025年3月

実施場所：国立長寿医療研究センター

目標症例数：治療群50例、対照群50例

研究計画：

ADT導入群は、65歳以上で前立腺癌と診断されアンドロゲン除去療法（ADT）を開始する患者、対照群は高PSA血症により経過観察中で治療を受けていない65歳以上の男性とした。

両群において、以下の評価項目を治療開始前および12か月後に実施した：

基本属性・併存症・服薬状況

身長・体重・BMI・血圧・脈拍

握力・下肢周径・KCL（基本チェックリスト）スコア・SARC-F

QOL指標（FACT-P）

下部尿路症状評価（IPSS、IPSS-QOL、OABSS）

採血（PSA、血算、生化学）

これらの項目を用いて、フレイル・サルコペニア進行との関連性、およびADT治療中に注視すべき変化項目の抽出を試みた。

③ フレイル高齢者の下部尿路症状（LUTS）と骨盤内血流障害に関する研究

研究デザイン：横断的研究

研究期間：倫理委員会承認後～2025年3月

実施場所：国立長寿医療研究センター

目標症例数：60例

研究計画：

泌尿器外科外来で膀胱内視鏡検査を予定されている高齢者を対象とし、膀胱粘膜血流（BBF）を非接触型レーザードプラ血流計により測定。

あわせて以下の指標を評価した：

年齢・性別・基本属性・合併症・服薬状況

身長・体重・BMI

LUTS スコア（IPSS、OABSS）

フレイル評価（KCL：基本チェックリスト）

内視鏡的観察による膀胱所見（粘膜血管変化・肉柱形成の有無）

BBF と LUTS および全身的・局所的指標との関連性を統計学的に検討し、LUTS の病態における血流の関与の可能性と BBF の臨床的評価指標としての応用性を探索した。

（倫理面への配慮）

1. 被験者の人権に対する配慮および個人情報保護の方法

本研究のすべての担当者は、「ヘルシンキ宣言（2013年10月修正）」および「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和3年3月23日制定）」を遵守して実施する。研究の結果を公表する際は、被験者を特定できる情報を含まないようにする。また、研究の目的以外に、研究で得られた被験者のデータ等を使用しない。

2. 同意取得の方法

研究担当者は、審査委員会で承認の得られた同意説明文書を被験者にわたし、文書および口頭による十分な説明を行い、被験者の自由意思による同意を文書で取得する。同意説明文書には、以下の内容を含むものとする。

- ① 研究への参加は任意であること、同意しなくても不利益を受けないこと、同意は撤回できること。
- ② 研究の意義、目的、対象、方法、実施期間、予定被験者数
- ③ 研究に参加することにより期待される利益、起こりえる不利益
- ④ 個人情報の取り扱い、保存期間と廃棄方法、研究方法等の閲覧
- ⑤ 研究成果の発表および特許が発生した場合の取り扱い
- ⑥ 研究に関わる被験者の費用負担、研究資金源と利益相反
- ⑦ 研究の組織体制、研究に関する問い合わせ、連絡先
- ⑧ 被験者に健康被害が発生した場合の対応と補償の有無

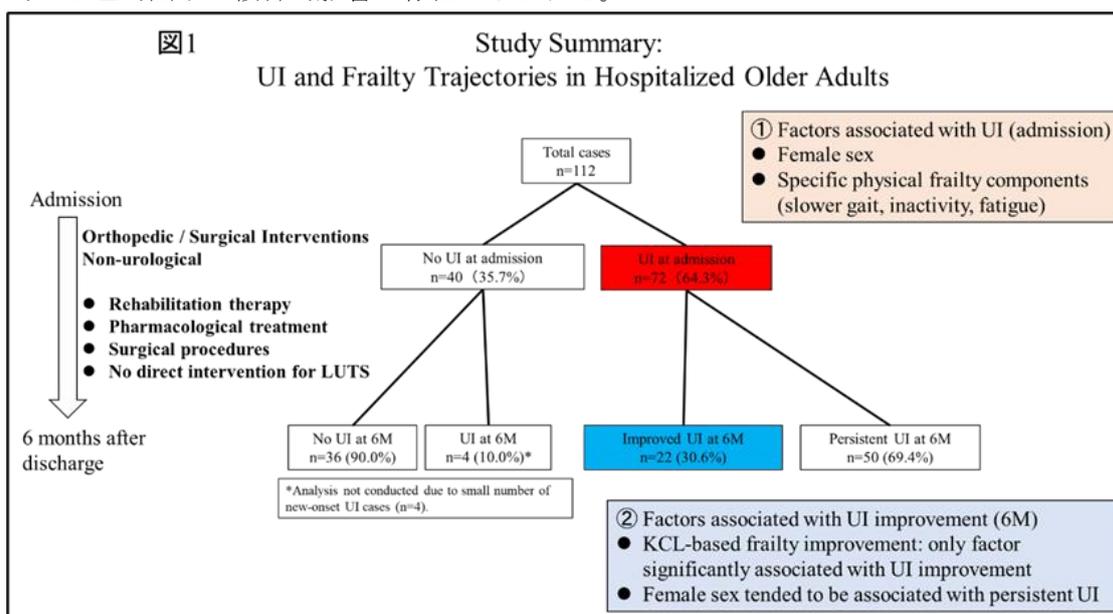
C. 研究結果

本研究では、3つの分担研究を通じて、泌尿器疾患とフレイル・サルコペニアの関連について多面的な観察研究を実施した。それぞれの研究成果は以下のとおりである。

① 高齢入院患者におけるフレイルと尿失禁発症に関わる共通リスク因子の同定

LUTS の治療歴を有しない高齢入院患者 112 例を対象に、入院時における尿失禁 (Urinary Incontinence : UI) の有無および身体的フレイルとの関連を横断的に評価した。その結果、尿失禁の有症率は 64.2%と高く、性別 (女性)、歩行速度低下、活動性の低下、疲労感が尿失禁と有意な関連を示した。これらはいずれもフレイルの構成要素であり、フレイルと尿失禁は共通の背景要因を持つ可能性が示唆された。

退院後 6 か月の追跡調査では、KCL スコアの改善が尿失禁の改善と有意に関連し、生活機能の回復が尿失禁の改善にもつながる可能性が明らかとなった (図 1)。さらに、転倒不安は全体の 73.2%に認められ、転倒歴、フレイル、尿失禁と有意に関連しており、身体的・心理的因子の複合的影響の存在が示された。



② 高齢前立腺癌患者に対するアンドロゲン除去療法がフレイル・サルコペニアに与える影響の検討

ADT 導入群 43 例、対照群 36 例が登録され、12 か月後の評価が可能であった ADT 群 37 例、対照群 36 例を解析対象とした。両群を比較した縦断調査の結果、ADT 群では 12 か月後に BMI、握力、下肢周径、KCL スコア (特に身体機能・社会活動・うつ状態)、OABSS において有意な低下あるいは悪化を認めた。これにより、ADT が身体的フレイルの進行に加え、心理社会的側面にも影響を及ぼす可能性が示唆された (表 1.2)。

一方、SARC-F スコアや FACT-P では有意差が認められず、これらの簡便評価ツールには

変化を検出する感度の限界があることも示された。

これらの結果を踏まえ、ADT 治療導入時からの多面的な機能評価の実施と、早期介入の重要性が再確認された。

《表 1：主要アウトカム指標の変化サマリー》

指標	群×時点の交互作用	群効果	解釈
BMI	非有意	有意	ADT群で体格変化が認められた
握力	非有意	有意	ADT群で握力の低下が明確だった
下肢周径	非有意	有意	筋量低下がADT群で示唆された
KCL合計	有意	有意	ADT群で生活機能の悪化が明確だった
SARC-F	非有意	非有意	簡易評価としての感度が限定的だった
FACT-P	非有意	非有意	QOL低下の傾向はあるが有意差なし
IPSS	非有意	非有意	下部尿路症状の変化に群差は見られなかった
IPSS-QOL	非有意	非有意	生活の質への影響は限定的だった
OABSS	有意	有意	ADT群で過活動膀胱症状が悪化傾向

《表 2：KCL 小項目の変化サマリー》

小項目	群×時点の交互作用	群効果	解釈
ADL	有意	非有意	ADT群でのみADLスコアが悪化した傾向がある
身体機能	有意	有意	ADT群での身体機能の有意な悪化が確認された
栄養状態	非有意	非有意	両群で明確な差や変化は見られなかった
口腔機能	非有意	有意	12M時点でADT群の口腔機能スコアが有意に低かった
社会活動	有意	有意	ADT群で社会活動スコアの有意な低下が見られた
認知機能	非有意	非有意	認知機能スコアに有意な変化や群差は認められなかった
うつ状態	有意	有意	ADT群でうつ状態の悪化が明瞭に認められた

③ フレイル高齢者の下部尿路症状（LUTS）と骨盤内血流障害に関する研究

登録症例数 44 例（解析対象 42 例、男性 31 例、女性 11 例）の高齢者を対象に、非接触型レーザー Doppler 法を用いて膀胱粘膜血流（BBF）を測定し、LUTS との関連を横断的に検討した。

その結果、BBF は IPSS 合計スコア ($r = -0.410$)、排尿症状サブスコア ($r = -0.439$)、OABSS ($r = -0.342$) と有意な負の相関を示した（表 3）。

また、男性症例に限定した解析では、BBF 低値が LUTS 中等症以上（IPSS ≥ 8 ）および排尿症状スコア高値（IPSS 排尿スコア ≥ 5 ）の独立したリスク因子であることが、修正 Poisson 回帰モデルによって明らかとなった（RR=1.92~2.26、 $p < 0.05$ ）。年齢、前立腺体積、BMI、簡易フレイル指標は独立因子ではなかった。

これらの結果は、膀胱局所の血流変化が LUTS の病態形成に寄与する可能性を示唆しており、BBF は臨床における新たな評価指標となる可能性を有している。

	年齢	TUR回数	BMI	生活習慣病前立腺重量 因子数	IPSS (男性のみ) 合計点	IPSS蓄尿 サブスコア	IPSS排尿 サブスコア	QOL	OABSS 合計点	Charlson 年齢未調整	
BBF Pearson 相関係数	-0.066	-0.021	-0.289	-0.293	-0.292	-.410**	-.308*	-.439**	-.305*	-.342*	-0.143
有意確率(両側)	0.676	0.894	0.064	0.06	0.111	0.007	0.047	0.004	0.049	0.027	0.365
度数	42	42	42	42	31	42	42	42	42	42	42

D. 考察と結論

研究①高齢入院患者におけるフレイルと尿失禁発症に関わる共通リスク因子の同定

本研究の対象は、整形外科および消化器系疾患による入院を契機とした65歳以上の高齢患者であり、すべてが下部尿路機能障害に対する治療歴を有していない集団である。入院中には、各疾患に対するリハビリテーション、薬物療法、あるいは手術療法が実施されたが、LUTSに対する特別な治療介入は行われていない。そのため、観察された尿失禁の変化は泌尿器科的治療の影響を受けていない自然経過、または全身状態の改善によるものである可能性が高い。

入院時の横断解析では、歩行速度の低下、活動性の低下、疲労感などの身体的フレイル要素と尿失禁との有意な関連が示され、身体機能の低下がLUTSの出現および持続に関与することが示唆された。また、尿失禁は転倒不安、転倒歴、性別（女性）とも有意に関連し、LUTSが身体的脆弱性のみならず心理的・社会的要因とも相互に関連する可能性が示された。

さらに、退院後6か月の追跡調査において、KCLスコアの改善が尿失禁の改善と有意に関連していたことから、生活機能や身体機能の回復がLUTSの改善に寄与する可能性があることが明らかとなった。特に、LUTSに対する医療的介入がなされていないにもかかわらず尿失禁の改善が得られている点は、非薬物的介入（リハビリ・生活支援など）の意義を強く支持する知見である。

このような対象群は、入院を契機に身体的・心理的機能の変化が顕在化しやすく、フレイルやLUTS、転倒不安といった症候が複合的に表出しやすい段階にある。本研究により、LUTSは高齢者の健康状態を感度高く反映する可逆的指標であり、非薬物的な多面的支援が有効となり得ることが示された。これらの成果は、今後のLUTSを含む高齢者包括ケア戦略の設計と介入研究の基盤となるものである。

② 高齢前立腺癌患者に対するアンドロゲン除去療法がフレイル・サルコペニアに与える影響の検討

本研究では、ADTを受けた高齢前立腺癌患者（ADT群）と、治療を受けていない対照群を比較し、12か月間にわたる身体機能、生活機能、下部尿路症状、QOLの変化を前向きに評価した。ADT群では、握力、下肢周径、KCLスコア（身体機能・社会活動・うつ状態）、OABSSにおいて有意な変化または群間差を認めた。これらの結果は、ADTが筋力

低下や活動性の低下、LUTS の悪化と関連しており、身体的フレイルだけでなく心理社会的側面にも影響を及ぼす可能性を示している。

特に、KCL の小項目では社会活動や精神的健康に関するスコアの悪化が明確であり、身体的変化に先行または並行して心理的・社会的機能の低下が進行する傾向が確認された。一方で、SARC-F や FACT-P などの簡易評価指標には有意な群間差が見られず、評価ツールの選定における限界も示された。

また、近年の前立腺癌診療ガイドラインでは、新規アンドロゲン受容体シグナル阻害薬や化学療法を含むより強力な治療選択肢の適応が拡大しており、これらの導入にあたっては、治療前の段階で身体・生活機能を的確に評価し、患者ごとの状態に応じた治療設計を行うことが一層重要となっている。その点で、握力や KCL スコアのような簡便かつ再現性の高い指標は、機能的予備能を把握するうえで有用であり、日常診療における判断支援の一環として活用されうる。

本研究は、ADT が身体機能や生活機能の変化と深く関係していることを示し、導入時からの多面的な評価および早期介入の必要性を明らかにした。今後の課題として、ADT 導入時における定期的な評価の導入、栄養・運動・心理的支援を含む多職種による支援体制の構築、さらには他施設共同研究による症例数の拡大や介入研究の展開が挙げられる。

③ フレイル高齢者の下部尿路症状 (LUTS) と骨盤内血流障害に関する研究

本研究では、膀胱内視鏡下に非接触型レーザー Doppler 法を用いて BBF を測定し、フレイル高齢者における LUTS との関連を検討した。解析対象例において、BBF は IPSS 合計スコア、排尿症状サブスコア、OABSS とそれぞれ有意な負の相関を示した。特に男性例では、BBF の低下が LUTS 中等症以上および排尿症状の重症度に対する独立した関連因子であることが統計解析により明らかとなった。

年齢、前立腺体積、BMI、簡易フレイル指標などの因子は LUTS 重症度と有意な関連を示さなかったことから、局所血流の質的低下が LUTS の病態に特異的に関与している可能性が示唆される。これは、従来の構造的・解剖学的評価では捉えきれない新たな病態理解の一端を示すものであり、BBF は LUTS を評価する新たな生理的指標として臨床応用が期待される。現時点では研究的段階であり、今後の標準化と再現性評価が必要である。今後は、BBF を活用した診療アルゴリズムの構築とともに、血流改善や血管保護を目的とした新たな診断・治療戦略の検討が必要である。その実現には、介入研究や縦断的評価を通じた因果関係の検証、および評価法の標準化と再現性の確保が重要となる。

これらの結果を踏まえると、下部尿路機能障害および ADT 治療は、身体的・生活的・心理的側面を含む高齢者の多面的な脆弱性と密接に関係しており、LUTS (特に尿失禁) は可逆的な変化を含む現象として、全身の機能変化を把握する重要な手がかりとなることが示された。治療や支援にあたっては、症状単独ではなく、その背景にある機能変化や脆弱

性の進行に目を向けた対応が求められる。

今後は、下部尿路機能に加えて身体機能・生活機能・心理社会的要素を統合的に評価できる体制の整備、ADT 治療中の変化を的確に捉える支援体制の構築、さらに BBF などの生理指標を応用した LUTS の評価方法の確立が必要である。これらの取り組みにより、高齢者の状態に応じた実行可能な診療・支援の構築が進むことが期待される。

E. 健康危険情報

該当なし

F. 研究発表

1. 論文発表

2024 年度

1. Yoshida M, Ikeda M, Nawata S, et al. : Comparative Efficacy and Safety of the β_3 -Adrenoceptor Agonist Vibegron for Urgency and Mixed Urinary Incontinence: A Post Hoc Analysis of a Randomized, Double-Blind, Placebo-Controlled Phase 3 Study.. *Cureus* 16:e71106, 2024.
2. 野宮正範、西井久枝、社本憲俊、吉田正貴：フレイルと排尿障害. *臨床泌尿器科* 78:128-134, 2024.
3. 西井久枝、北雅史、三井貴彦、井原達矢、野宮正範：泌尿器科外来受診患者における下部尿路症状と排尿後尿滴下の実態調査，症状評価と関連要因の検討：多施設共同研究. *日本排尿機能学会誌* 34:501-506, 2024.
4. 野宮正範、西井久枝、上川裕輝、吉田正貴：ウロフレイル—泌尿器のフレイル—. *臨床栄養* 144:352-356, 2024.
5. 野宮正範、西井久枝、渡邊亮典：フレイルと過活動膀胱による夜間頻尿との関連. *臨床泌尿器科* 78:128-134, 2024.
6. 西井久枝、神谷正樹、社本憲俊、野宮正範：認知機能と下部尿路機能障害/下部尿路症状. *認知機能と下部尿路機能障害/下部尿路症状* 82:1388-1392, 2024.
7. 吉田正貴：フレイル・サルコペニアと認知機能障害 ウロ・フレイルと認知機能障害. *老年精神医学雑誌* 35:579-583, 2024.

2023 年度

1. 吉田正貴、横山剛志：過活動膀胱 up to date 2023. ウロフレイルと過活動膀胱 (OAB) up to date—フレイルと OAB の関連、診療上の注意点—. *泌尿器外科* 36:475-481, 2023.
2. 吉田正貴：男性の夜間多尿に対するデスマプレシン OD 錠. *糖尿病・内分泌代謝科* 56:638-644, 2023.
3. 吉田正貴：過活動膀胱ガイドライン第3版を読み解く. *薬物療法の新たなエビデンス*.

- 排尿障害プラクティス 31:28-33, 2023.
4. 吉田正貴：高齢化社会の腎泌尿器疾患診療 UP To Date. 各論—フレイル・サルコペニア. フレイル高齢者における下部尿路機能障害に対する診療ガイドライン. 腎と透析 94:761-765, 2023.
 5. 吉田正貴、大石 充、高橋 悟：実臨床における夜間頻尿の診断と治療—専門医への紹介のタイミング. 日本医師会雑誌 152:949-961, 2023.
 6. 吉田正貴：実地医科のための排尿障害診療の実際. 総論 実地医科のための排尿障害診療の実際. Vita 40:28-34, 2023.
 7. 吉田正貴、野宮正範、西井久枝：実践講座 排便と排尿障害. 高齢者の排尿障害の病態に関する基礎知識. 総合リハ 51:1221-1227, 2023.
 8. 吉田正貴：夜間頻尿診療ガイドラインと診療アルゴリズム. 日本医師会雑誌 152:963-967, 2023.
 9. Masaki Yoshida : INITIAL ASSESSMENT OF URINARY INCONTINENCE IN ADULT MALE AND FEMALE PATIENTS. VI. SPECIFIC POPULATION: EVALUATION OF THE MALE PATIENT.. Incontinence 7th edition, Cardozo L, Rover E, Wagg A et al. eds, 7:417-435,, 2023.
 10. 西井久枝、近藤洋平、吉田正貴、野宮正範：フレイルと前立腺肥大症. Prostate Journal 10:77-81, 2023.
 11. 野宮正範、西井久枝、渡邊亮典、吉田正貴：過活動膀胱と認知症（アルツハイマー病とかくれ脳梗塞の合併例）. 排尿障害プラクティス 31:116-122, 2023.
 12. 野宮正範、西井久枝、近藤洋平、吉田正貴：前立腺肥大症/男性下部尿路症状における排尿筋過活動と排尿筋低活動の病態生理. Prostate Journal 10:61-68, 2023.
 13. Masaki Kamiya, 、 Aiko Osawa, Yusuke Shinoda, Hisae Nishii, Izumi Kondo : The current state of family caregiver burden and support of toilet problems for elderly with mild cognitive impairment and Alzheimer's disease. International Journal of Urology 30:539-546, 2023.

2022年度

1. 野宮正範、西井久枝、早川明良、吉田正貴：低活動膀胱に挑む！UAB/DUの病態生理. 日本排尿機能学会誌 32(2):295-301, 2022.
2. 西井久枝、早川明良、平間康子、安江孝依、青山貴文、神谷正樹、横山剛志、野宮正範：【排尿ケアチームが紹介!排尿自立指導、誌上施設見学会】(chapter 3)施設の工夫の紹介 地域の総合病院から 国立長寿医療研究センター病院における排尿自立指導の工夫. Uro-Lo: 泌尿器 Care & Cure 27(2):212-219, 2022.
3. 西井久枝、上條駿介、野宮正範、吉田正貴：身体機能障害・高次脳障害に対する排尿動作支援. WOC Nursing 12(5):7-13, 2022.
4. 西井久枝、上條駿介、神谷正樹、青山貴文、加納 優、佐竹昭介、野宮正範：特集

- 「どう診る？ フレイル・認知症、事例とともに考える高齢者の泌尿器疾患」特集 5
フレイル・認知症高齢者に対する尿閉の検査・治療・看護. *Uro-Lo: 泌尿器 Care & Cure* 27(4):465-471, 2022.
5. 神谷正樹、大沢愛子、西井久枝、近藤和泉：認知症高齢者の下部尿路機能障害に関する家族の介護負担感の現状と家族支援のあり方の検討. *日本老年泌尿器科学会誌* 35(2):67-70, 2022.
 6. 野宮正範、西井久枝、早川明良、吉田正貴：特集/外来汎用薬の選択のポイント 各種治療薬における上手な薬剤選択 排尿障害治療薬. *臨床と研究* 99(2):91-98, 2022.
 7. Yoshida.M., Satake.S, Ishida.K, Tanaka.Y, Ukai.M. : A non-interventional cross-sectional recontact study investigating the relationship between overactive bladder and frailty in older adults in Japan.. *BMC Geriatrics* 22(1):68, 2022.
 8. 野宮正範、西井久枝、早川明良、吉田 正貴：【高齢者における排尿関連ガイドラインの意義—『夜間頻尿診療ガイドライン』と『男性下部尿路症状・前立腺肥大症診療ガイドライン』の改訂を踏まえて—】高齢者における下部尿路症状とフレイル・サルコペニアの関係について. *Geriatric Medicine* 60(3):239-243, 2022.
 9. 西井久枝、横山剛志、伊藤有香、野宮正範：【泌尿器科の疾患・治療・ケア】(第3章) 尿路感染症 腎盂腎炎. *Uro-Lo: 泌尿器 Care & Cure 別冊泌尿器科の疾患・治療・ケア*:94-99, 2022.
 10. 伊藤有香、西井久枝、野宮正範：尿中に青紫色浮遊物を認めた膀胱白板症の1例. *西日本泌尿器科* 84(3):302-307, 2022.
 11. 吉田正貴、野宮正範、西井久枝：フレイル・サルコペニアと排尿障害 医師の立場から. *排尿障害プラクティス* 30(2):49-55, 2022.
 12. Yoshida M, Gotoh.M, Yokoyama.O, Kakizaki.H, Yamanishi.T, Yamaguchi.O : Efficacy of TAC-302 for patients with detrusor underactivity and overactive bladder: a randomized, double-blind, placebo-controlled phase 2 study.. *World Journal of Urology* 40(11):2799-2805, 2022.
 13. 津下一代、北村明彦、徳田治彦、森山 優、吉村典子、辻川明孝、小川 郁、吉田正貴、福井 敏樹：2021 年度 高齢者のための健診・予防医療のあり方検討委員会 報告書 ～健康長寿に向けた これからの健診の在り方について～. *人間ドック* 36:712-748, 2022.
 14. 吉田正貴：下部尿路機能障害（排尿障害）に対するガイドラインを踏まえた高齢者診療. *日本老年医学会雑誌* 59:115-130, 2022.
 15. 吉田正貴、横山剛志：下部尿路機能障害（排尿障害）へのアプローチ 夜間頻尿. *診断と治療* 110:777-784, 2022.
 16. 吉田正貴、西井久枝、野宮正範、横山剛志：フレイル Update 2022. 泌尿器科疾患とフレイル（ウロフレイル）. *Geriatric Medicine* 60:523-526, 2022.

17. 吉田正貴、横山剛志：失禁のリハビリテーション治療 最前線. 失禁の分類と診断. *Clinical Rehabilitation* 31:834-841, 2022.
18. 吉田正貴：特集 泌尿生殖器疾患とフレイル（ウロフレイル）. *Urology Today* 29:152-164, 2022.
19. 吉田正貴、野宮正範、西井久枝：フレイルサルコペニアと排尿障害. 医師の立場から. *排尿障害プラクティス* 30:139-146, 2022.
20. 横山剛志、吉田正貴：フレイルサルコペニアと排尿障害. 看護師の立場から. *排尿障害プラクティス* 30:120-125, 2022.
21. 吉田正貴：新規 B3 作動薬ビベグロンは高齢者過活動膀胱患者に有用か？. *排尿障害プラクティス* 30:139-146, 2022.
22. 野宮正範、西井久枝、上條駿介、吉田正貴：フレイルに伴う尿失禁. *臨床泌尿器科* 76(12):928-933, 2022.

2. 学会発表

2024 年

1. 近藤洋平、西井久枝、小林将貴、磯部安朗、高井峻、松川宜久、田中篤史：高齢尿閉男性患者に対する HoLEP の尿閉解除効果の検討 2024.11.23/第 74 回日本泌尿器科学会中部総会（金沢市）
2. 西井久枝、近藤洋平、社本憲俊、杉原嘉一、野宮正範：認知機能・日常生活動作能力低下を有する高齢尿閉男性患者に対する PVP のアウトカム 2024.11.23/第 74 回日本泌尿器科学会中部総会（金沢市）
3. 西井久枝、社本憲俊、野宮正範：高齢前立腺癌患者に対するアンドロゲン除去療法におけるフレイル・サルコペニア予兆の確認には握力測定が有用である 2024.11.2/第 11 回サルコペニア・フレイル学会（東京都）
4. 西井久枝：在宅医療においてライフ（生活・生命・人生）を支える下部尿路機能診断・治療・ケア 2024.11.1/第 75 回西日本泌尿器科学会総会（佐賀市）
5. 野宮正範：過活動膀胱（OAB）が高齢者の転倒リスクを高める—フレイルと OAB の関連性— 2024.10.28/Beova Live Seminar（全国 web）
6. 吉田正貴：夜間頻尿の診断と治療～ガイドラインをひも解く 2024.10.27/第 68 回社会保険指導者講習会（東京都）
7. Noritoshi SHAMOTO, Hisae NISHII, Masanori NOMIYA : Investigation of current status of interstitial cystitis and bladder pain syndrome in the elderly 2024.10.14/ Korean Urology Association（Seoul）
8. Hisae NISHII, Yohei KONDO, Noritoshi SHAMOTO, Masanori NOMIYA : Investigation of catheter-free rate after photoselective vaporisation of prostate in elderly cognitively and/or physically impaired male patients with urinary retention.

2024.10.14/Korean Urology Association (Seoul)

9. 野宮正範：山口脩先生追悼講演 日本発・世界初の過活動膀胱治療薬 B3 作動薬の誕生まで 2024.9.7/第 31 回日本排尿機能学会（郡山市）
10. 上條駿介、林岳、伊藤史裕、西井久枝、松川宜久、藤田高史：当院における前立腺肥大症に対する経尿道的水蒸気治療の導入後 1 年間の成績 2024.9.6/第 31 回日本排尿機能学会（郡山市）
11. 渡邊亮典、松川宜久、高井峻、西井久枝、伊藤有香、鈴木知秀、花田いずみ、荒木英盛、成島雅博、加藤久美子、赤松秀輔：排尿筋低活動を伴う難治性過活動膀胱に対する仙骨神経刺激療法の初期経験 2024.9.6/第 31 回日本排尿機能学会（郡山市）
12. 日高明子、西井久枝、力武まゆみ、高野郁美、小川正洋、吉川羊子：名古屋市高齢者排泄ケア相談支援事業の現状と課題 2024.9.5/第 31 回日本排尿機能学会（郡山市）
13. 野宮正範、西井久枝、上川裕輝、社本憲俊、伊藤直樹、西村惇、高橋智子、吉田正貴：下部尿路機能障害治療歴のない高齢入院患者における尿失禁とフレイル（中間解析） 2024.9.5/第 31 回日本排尿機能学会（郡山市）
14. 上川裕輝、西井久枝、社本憲俊、高井峻、松川宜久、野宮正範：下部尿路症状で受診した高齢泌尿器科患者におけるフレイル調査 2024.9.5/第 31 回日本排尿機能学会（郡山市）
15. 西崎成紀、神谷正樹、西井久枝、平間康子、野宮正範、加賀谷斉：能的自立度評価法（FIM）を用いた排尿自立支援の効果検証 2024.9.5/第 31 回日本排尿機能学会（郡山市）
16. 野宮正範、西井久枝、上川裕輝、社本憲俊、伊藤直樹、横山剛志、吉田正貴：下部尿路機能障害治療歴のない高齢入院患者における尿失禁とフレイル～退院 6 か月後の追跡調査（中間解析）～ 2024.9.5/第 31 回日本排尿機能学会（郡山市）
17. 西井久枝、高士直己、神谷正樹、社本憲俊、大寺祥佑、野宮正範：排尿自立支援の地域差とその関連要因：NDB オープンデータからの分析 2024.9.5/第 31 回日本排尿機能学会（郡山市）
18. 西井久枝：教育セミナー male LUTS 診療における CP/CPSS の診断と治療の現状 2024.9.5/第 31 回日本排尿機能学会（郡山市）
19. 西井久枝：ワークショップ CIC 誕生から半世紀：その功罪と将来展望 2024.9.5/第 31 回日本排尿機能学会（郡山市）
20. 社本憲俊、西井久枝、野宮正範：耐え難い膀胱痛のためオピオイドが必要だった重症間質性膀胱炎に対し膀胱全摘術を行った一例 2024.8.22/Innovative Medical Challenge（愛知）
21. 社本憲俊、西井久枝：膀胱がんと前立腺がん 2024.6.20/5W 病棟勉強会（大府市）
22. 西井久枝、近藤洋平、上川裕輝、野宮正範：認知機能・日常生活動作能力低下を有する高齢尿閉患者における経尿道的前立腺レーザー切除術による尿閉解除の検討

2024.6.15/第 66 回 日本老年医学会 (愛知)

23. 野宮正範、西井久枝、上川裕輝、吉田正貴、伊藤直樹、西村惇：下部尿路機能障害治療歴のない高齢入院患者における尿失禁とフレイル 2024.6.14/第 66 回 日本老年医学会 (愛知)
24. 野宮正範、西井久枝、上川裕輝、吉田正貴：高齢者における下部尿路機能の保持：行動療法の重要性 2024.6.14/第 66 回 日本老年医学会 (愛知)
25. 吉田正貴：過活動膀胱の薬物療法～抗コリン薬 or β3 作動薬 2024.6.12/宇土地区医師会学術講演会 (宇土市)
26. 西村惇、神谷正樹、西井久枝、西崎成紀、表香澄、野宮正範、加賀谷斉：脊椎骨折患者における下部尿路症状の実態 2024.5.18/第 37 回 日本老年泌尿器科学会 (和歌山)
27. 黒木かんな、西井久枝、神谷正樹、二田真理子、生川理恵、中村大樹、平間康子、野宮正範：転倒により排泄非自立となった高齢患者に対する排尿自立再獲得に向けての多職種連携 2024.5.18/第 37 回 日本老年泌尿器科学会 (和歌山)
28. 鎌手菜摘、神谷正樹、西崎成紀、永坂元臣、竹内有名、西井久枝、野宮正範、加賀谷斉：尿道カテーテル留置から離脱した視力障害を有する患者に対してトイレ関連動作の自立を目指した 1 例 2024.5.18/第 37 回 日本老年泌尿器科学会 (和歌山)
29. 神谷正樹、西井久枝、西崎成紀、二田真理子、平間康子、野宮正範、加賀谷斉：高齢尿閉患者における清潔間欠自己導尿(CIC)習得に必要な日常生活活動(ADL)と認知機能レベルの検討 2024.5.18/第 37 回 日本老年泌尿器科学会 (和歌山)
30. 吉田正貴：高齢者の過活動膀胱 (OAB) 治療を考える～最近のガイドラインを踏まえて～ 2024.5.18/第 37 回日本老年泌尿器科学会 (和歌山市)
31. 本田梨奈、西井久枝、平間康子、神谷正樹、野宮正範：認知機能低下および ADL 低下を伴う高齢夫婦世帯における持続可能な排尿管理方法を検討した 1 例 2024.5.17/第 37 回 日本老年泌尿器科学会 (和歌山)
32. 西井久枝、上川裕輝、野宮正範：高齢前立腺癌患者に対するアンドロゲン除去療法がフレイル・サルコペニアに与える影響の検討 2024.5.17/第 37 回 日本老年泌尿器科学会 (和歌山)
33. M. Nomiya, H. Nishii, R. Watanabe, N. Shamoto, M. Yoshida : Common risk factors for frailty and urinary incontinence 2024.4.27/第 111 回日本泌尿器科学会総会 (横浜市)
34. 吉田正貴：アップデートシリーズ 3 泌尿器科診療におけるフレイル、サルコペニア 2024.4.26/第 111 回日本泌尿器科学会総会 (横浜市)
35. 西井久枝、神谷正樹、西崎成紀、平間康子、安江孝依、伊藤直樹、加賀谷斉、野宮正範：多職種排尿ケアチームによる下部尿路機能および排尿関連動作への介入の検討 2024.4.25/第 111 回 日本泌尿器科学会総会 (横浜)
36. 西井久枝：おとな排泄ケア相談会 2024.2.25/愛知排泄ケア研究会 (zoom (全国))

37. 西井久枝：排尿障害の基礎知識 2024.2.17／知多半島非尿ケアセミナー（東海市）
38. 西井久枝：フレイル・サルコペニア・認知機能障害と下部尿路機能障害 2024.2.10／愛知県保険医協会リプロダクティブ・ヘルス部臨床懇談会（名古屋市）
39. 西井久枝：セルニルトン Web 講演会座長 2024.2.5／排尿障害 Web セミナー（zoom（全国））
40. 西井久枝：1. 骨盤底筋訓練 2. ボツリヌス毒素注入療法 2024.2.3／すずか腎・泌尿器クリニック講演会（鈴鹿市）
41. 西井久枝：おとな排泄ケア相談会 2024.1.27／愛知排泄ケア研究会（zoom（全国））

2023年

1. 野宮正範：フレイル・認知機能低下高齢者の下部尿路機能障害一過活動膀胱から低活動膀胱まで 2023.11.19／名古屋尿流動態塾講演会（名古屋市）
2. 野宮正範：フレイル・認知機能低下高齢者の下部尿路症状～過活動膀胱薬物治療の第一選択薬～ 2023.11.8／半田内科医会学術講演会（半田市）
3. 安江孝依、平間康子、荒木三千枝、飯田真由美、西井久枝、野宮正範：排泄の問題で困っている高齢者とその介護者・医療関係者のための「すっきり排泄ケア外来」における看護師による患者指導の検討 2023.10.20／第77回 国立病院学会（広島市）
4. 野宮正範、西井久枝：市民公開講座 おしっこの悩み 2023.10.14／Independent ageing（常滑市）
5. 西井久枝：Education and Innovative Center for Geriatrics and Gerontology 2023.10.13／Independent Ageing（Aichi）
6. 西井久枝、渡邊亮典、上川裕輝、野宮正範：下部尿路症状のため、初めて泌尿器科外来に受診した高齢者におけるフレイルの有病率 2023.10.6／第10回 サルコペニア・フレイル学会（東京都）
7. 西井久枝：フレイル・サルコペニア高齢者の下部尿路機能障害の治療・管理・ケア 2023.10.5／第10回 サルコペニア・フレイル学会（東京都）
8. 若松ひろ子、佐藤理乃、西井久枝、青木芳隆、鈴木基文：自己導尿に関する YouTube® 動画情報とコメントについてのテキストマイニングによる対応分析比較 2023.9.9／第30回日本排尿機能学会（千葉市）
9. 西崎成紀、神谷正樹、西井久枝、平間康子、安江孝依、伊藤直樹、野宮正範、加賀谷斉：日本排尿機能学会 入院患者に対する包括的な排尿ケアチーム介入効果の検討 2023.9.9／第30回日本排尿機能学会（千葉市）
10. 神谷正樹、西井久枝、松村純、松井孝之、伊藤直樹、野宮正範、加賀谷斉：リハビリテーションスタッフによる回復期リハビリテーション病棟入院患者に対する残尿測定や質問紙を用いた下部尿路機能障害評価の試み 2023.9.9／第30回日本排尿機能学会（千葉市）

11. 表香澄、神谷正樹、西井久枝、佐藤健二、伊藤直樹、野宮正範、加賀谷斉：訪問リハビリテーション利用中の在宅高齢者における下部尿路症状に関する調査 2023.9.8／第30回日本排尿機能学会（千葉市）
12. 西井久枝、渡邊亮典 野宮正範 北雅史 井原達矢 三井貴彦：下部尿路症状を訴えて泌尿器科外来を受診した患者における排尿後尿滴下の実態調査 2023.9.7／第30回日本排尿機能学会（千葉市）
13. 野宮正範：認知機能障害・フレイルと下部尿路機能障害 2023.9.7／第30回日本排尿機能学会（千葉市）
14. 近藤洋平、西井久枝、野宮正範：認知機能・日常生活動作能力低下高齢尿閉男性患者の経尿道的前立腺レーザー切除術後の下部尿路機能の評価 2023.9.7／第30回日本排尿機能学会（千葉市）
15. 野宮正範、西井久枝、近藤洋平、渡邊亮典、伊藤直樹、市川美春、永吉広奈、表香澄、吉田正貴：高齢入院患者における尿失禁とフレイルの検討 2023.9.7／第30回日本排尿機能学会（千葉市）
16. R. Kondo, H. Nishii, M. Nomiya : Investigation of catheter free rate after photoselective vaporization of prostate in elderly cognitively and/or physically impaired male patients with urinary retention 2023.8.19／Taiwan Urological Association Conference (Taipei city)
17. 西井久枝、野宮正範、上口賀永子、山田小桜里、山岡朗子、三浦久幸、平間康子：多職種協働による高齢尿閉患者の_x000B_排尿自立支援 2023.6.17／第65回日本老年医学会（横浜市）
18. 神谷正樹、大沢愛子、西井久枝、篠田勇介、植田郁恵、加賀谷斉：軽度認知障害および認知症高齢者のトイレ問題に関する介護者負担の探索的調査 2023.6.16／第65回日本老年医学会（横浜市）
19. 野宮正範、西井久枝、近藤洋平、渡邊亮典、伊藤直樹、市川美春、永吉広奈、表香澄、吉田正貴：下部尿路機能障害治療歴のない高齢入院患者における尿失禁とフレイル 2023.5.29／第36回日本老年泌尿器科学会（大津市）
20. 野宮正範：フレイル・認知機能低下と高齢者下部尿路症状
—フレイル状態を予測する早期マーカーとして高齢者尿失禁— 2023.5.28／第37回日本老年泌尿器科学会（大津市）
21. 野宮正範：高齢 OAB 患者の薬物治療を考える～フレイル予防・改善の可能性～ 2023.5.27／第36回日本老年泌尿器科学会（大津市）
22. 榎原祐梨、平間康子、安江孝依、井上和世、加納周美、西井久枝、野宮正範：サルコペニア・フレイル指導士について 2023.5.26／第36回日本老年泌尿器科学会（大津市）
23. M. Nomiya, H. Nishii, Y. Kondo, M. Yoshida : Association between lower urinary tract symptoms and frailty in the elderly 2023.4.22／第110回日本泌尿器科学会総会

(神戸市)

24. 近藤洋平、西井久枝 野宮正範：膀胱全摘術・尿路変更を要した重症間質性膀胱炎の 1 例 2023.3.19／日本泌尿器科学会東海地方会（名古屋市）
25. 西井久枝、渡邊亮典 野宮正範 北雅史 井原達矢 三井貴彦：下部尿路症状を訴えて泌尿器科外来を受診した患者における排尿後尿滴下の実態調査 2023.9.7／第 30 回日本排尿機能学会（千葉市）
26. 野宮正範：認知機能障害・フレイルと下部尿路機能障害 2023.9.7／第 30 回日本排尿機能学会（千葉市）
27. R. Kondo, H. Nishii, M. Nomiya : Investigation of catheter free rate after photoselective vaporization of prostate in elderly cognitively and/or physically impaired male patients with urinary retention 2023.8.19／Taiwan Urological Association Conference (Taipei city)
28. 近藤洋平、西井久枝 野宮正範：膀胱全摘術・尿路変更を要した重症間質性膀胱炎の 1 例 2023.3.19／日本泌尿器科学会東海地方会（名古屋市）

2022 年

1. 吉田正貴：OAB 治療におけるベタニスの豊富なエビデンスを振り返る 2022.12.20／高齢者 OAB を再考する（旭川市）
2. 吉田正貴：過活動膀胱診療ガイドライン第 3 版の改訂のポイント．～β3 作動薬ビベグロンへの位置付け～ 2022.12.3／第 7 回北部ウロセミナー（熊本市）
3. 西井久枝、上條駿介、神谷正樹、青山貴文、安江孝依、平間康子、野宮正範：国立長寿医療研究センターにおける排尿自立支援の検討 2022.11.5／第 74 回西日本総会日本泌尿器科学会（北九州市）
4. 吉田正貴：最新ガイドラインから見るネオキシ®テープの位置づけ 2022.10.5／M3 学術講演会（WEB より配信）
5. 吉田正貴：過活動膀胱診療ガイドライン第 3 版の改訂のポイント．～β3 作動薬ビベグロンへの期待～ 2022.9.30／Beova Live Seminar.（WEB より配信）
6. 吉田正貴：高齢者排尿障害診療におけるフレイル・ロコモティブシンドロームや認知機能低下との関連 2022.9.25／「フレイル・認知機能低下高齢者への排尿自立支援に関する教育ビデオ」（WEB より配信）
7. 野宮正範：過活動膀胱 各論①初期評価・行動療法 2022.9.11／JCS（web）
8. リハビリテーション病棟入院患者の下着の種類と日常生活自立度 ～リハビリテーションパンツとオムツに着目した探索的検討～ 2022.9.3／第 29 回日本排尿機能学会（札幌）
9. 吉田正貴：過活動膀胱診療ガイドライン第 3 版 改訂のポイント～アルゴリズムと薬物療法を中心に～ 2022.0 年月日／場所：アステラス WEB シンポ（WEB より配信）
10. 吉田正貴：過活動膀胱診療ガイドライン第 3 版 改訂のポイント～アルゴリズムと薬

物療法を中心に～ 2022.<NA>.<NA>/アステラス WEB シンポ (WEB より配信)

11. 吉田正貴：OAB 治療におけるベタニスの豊富なエビデンスを振り返る 2022.12.20/高齢者 OAB を再考する (旭川市)
12. 吉田正貴：過活動膀胱診療ガイドライン第 3 版の改訂のポイント. ～β3 作動薬ビベグロンへの位置付け～ 2022.12.3/第 7 回北部ウロセミナー (熊本市)
13. 西井久枝、上條駿介、神谷正樹、青山貴文、安江孝依、平間康子、野宮正範：国立長寿医療研究センターにおける排尿自立支援の検討 2022.11.5/第 74 回西日本総会日本泌尿器科学会 (北九州市)
14. 西井久枝：過活動膀胱 Up-to-date 2022.11.4/第 74 回西日本泌尿器科学総会 (北九州市)
15. 上條駿介、西井久枝、吉田正貴、野宮正範：Photoselective Vaporization of the Prostate 術後瘢痕部に石灰化をきたした 1 例 2022.11.4/第 74 回西日本泌尿器科学総会 (北九州市)
16. 吉田正貴：最新ガイドラインから見るネオキシ®テープの位置づけ 2022.10.5/M3 学術講演会 (WEB より配信)
17. 吉田正貴：過活動膀胱診療ガイドライン第 3 版の改訂のポイント. ～β3 作動薬ビベグロンへの期待～ 2022.9.30/Beova Live Seminar. (WEB より配信)
18. 吉田正貴：高齢者排尿障害診療におけるフレイル・ロコモティブシンドロームや認知機能低下との関連 2022.9.25/「フレイル・認知機能低下高齢者への排尿自立支援に関する教育ビデオ」(WEB より配信)
19. 野宮正範：過活動膀胱 各論①初期評価・行動療法 2022.9.11/JCS (web)
20. 野宮正範：Take Home Message 基礎部門 2022.9.3/第 29 回日本排尿機能学会 (札幌市)
21. 青山貴文、神谷正樹、西井久枝、伊藤直樹、大沢愛子、野宮正範、加賀谷斉：回復期リハビリテーション病棟入院患者の下着の種類と日常生活自立度 ～リハビリテーションパンツとオムツに着目した探索的検討～ 2022.9.3/第 29 回日本排尿機能学会 (札幌)
22. 吉田正貴：OAB 診療ガイドライン第 3 版の改訂のポイント～β3 作動薬ビベグロンへの期待～ 2022.9.2/第 29 回日本排尿機能学会 (札幌市)
23. 吉田正貴：高齢者過活動膀胱の診療上の注意点について 2022.8.30/高齢者 OAB 勉強会 (都城市)
24. 吉田正貴：ウロフレイル (イントロダクション) 2022.8.27/Nephrology and Urology Conference (東京都)
25. 吉田正貴：不易流行 7 前立腺肥大症の治療 (イントロダクション) 2022.8.17/第 72 回日本泌尿器科学会中部総会 (和歌山市)
26. 野宮正範、西井久枝、上條駿介、吉田正貴：慢性膀胱虚血による下部尿路機能障害

2022.7.29／第 64 回日本平滑筋学会総会（名古屋市）

27. 吉田正貴：第 17 シリーズ「夜間頻尿」. 第 1 回「泌尿器科医からみた夜間頻尿」
2022.7.4／日本泌尿器科学会 Webinar（WEB より配信）
28. 平間康子、中谷美紀、安江孝依、青山貴史、神谷正樹、ロノ町まゆみ、石丸伸枝、野宮正範、西井久枝：重度左片麻痺がある患者の自宅退院支援に向けた多職種連携による自立支援 2022.6.11／第 35 回日本老年泌尿器科学会（山梨）
29. 野宮正範、西井久枝、上條駿介、早川明良、横山剛志、吉田正貴：フレイルと LUTS：ガイドラインに基づいて 2022.6.11／第 35 回日本老年泌尿器科学会（甲府市）
30. 平間康子、中谷美紀、安江孝依、青山貴史、神谷正樹、ロノ町まゆみ、石丸伸枝、野宮正範、西井久枝：重度左片麻痺がある患者の自宅退院支援に向けた多職種連携による自立支援 2022.6.11／第 35 回日本老年泌尿器科学会（山梨）
31. 二田真里子、神谷正樹、西井久枝、青山貴文、野宮正範、近藤和泉：排尿管理を自己完結できる状態で自宅退院した認知機能低下のある高齢女性の 1 例 2022.6.10／第 35 回日本老年泌尿器科学会（山梨）
32. 西井久枝、吉川羊子、笹山満栄、三原博美、高久和彦：名古屋市高齢者排せつケア電話相談窓口における排便障害の実態 2022.6.10／第 35 回日本老年泌尿器科学会（山梨）
33. 西井久枝、吉川羊子、笹山満栄、三原博美、高久和彦
：名古屋市高齢者排せつケア電話相談窓口における排便障害の実態 2022.6.10／第 35 回日本老年泌尿器科学会（山梨）
34. 野宮正範、西井久枝、上條駿介、吉田正貴：過活動膀胱治療によるフレイル改善・予防の可能性 2022.6.10／第 35 回日本老年泌尿器科学会（甲府市）
35. 西井久枝、吉川羊子、笹山満栄、三原博美、高久和彦：名古屋市高齢者排泄ケア 電話相談窓口の取り組みについて 2022.6.4／第 64 回日本老年医学会（大阪）
36. 吉田正貴、野宮正範、西井久枝：ウロフレイルの研究と診療の最前線 下部尿路機能障害(排尿障害)とフレイル 2022.6.3／第 64 回日本老年医学会（大阪）
37. 吉田正貴：超高齢社会に適した OAB 治療を考える 2022.3.23／過活動膀胱(OAB)WEB シンポジウム（熊本市）
38. 吉田正貴：排尿筋低活動/低活動膀胱の新しい臨床診断基準の提案 2022.3.12／第 19 回 Female LUTS and Pelvic Floor Meeting（東京都）
39. 吉田正貴：高齢化社会における糖尿病治療～夜間頻尿と QOL について～. 「糖尿病と夜間頻尿について考える」 2022.2.2／興和（株）講演会（熊本市）
40. 吉田正貴：夜間多尿による夜間頻尿の治療～デスマプレシンへの期待～ 2022.1.20／ミニリンメルト発売 2 周年記念講演会（熊本市）

G. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

該当なし

2. 実用新案登録

該当なし

3. その他

該当なし